

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### 〔取り組みの事実〕

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

### 〔取り組んでいきたい項目〕

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### 〔取り組んでいきたい内容〕

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### 〔特に力を入れている点・アピールしたい点〕（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（No.1からNo.87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（No.88からNo.100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム ふれやか 遊歩館
(ユニット名)	1 F
所在地 (県・市町村名)	北見市中央三輪9丁目17番地3
記入者名 (管理者)	小野 幸子 神館 美智代
記入日	平成 19 年 9 月 18日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>運営理念をもとに入居者様、御家族様に、安心、元気、笑顔、個性を大切にしたケアを提供していく。スタッフ一同、入居者様に笑顔のある日々を一緒に過ごせる様努力に努めていく</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>月1回のミーティングにて、理念や運営上の目的、方針等を具体的に説明し話し合いを行ない共有化を図っている。運営方針、理念を具体化していく為にも日常的に話し合いの場を設け継続し実行していく</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>2月に1回運営推進会議において家族、地域(町内会長、民生委員)、包括支援センター、の方々に運営上の方針や目標等を説明し話し合いに努めている。今後も運営推進会議において多数、家族参加の呼びかけを継続していく</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>日常的に散歩等を行い、日常の挨拶等出会いの場に努めている。玄関先には、ベンチ、花等を置き日常的に立ち寄れる環境に努めている。</p>	<p>○ 町内会の方々への声掛けや今後も散歩や買物等外出機会を増やしていきたい。近隣所の方との交流を深めていくよう努める。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>町内会の総会に参加させて頂き、ホームの紹介等行なっている。日常的に可能な限り参加を希望しているが、回覧板が届かない為、行事実施日が不明にて交流する事が出来ない。</p>	<p>○ 毎年変わる町内会長様にはその都度行事参加の希望を伝達している。回覧板の配布をその都度お願いし、施設行事にも参加して頂く様再度、話し合っていく</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	2月1回の運営推進会議において地域(町内会長、民生委員)の方々と話し合った内容を職員間で共有化している。今後も日常的に話し合う機会を設ける様に努める		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	定期的に法人代表との会議、職員、管理者とのミーティングでの情報交換、情報の提供を行い質の向上や改善に努めている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、生活状況、行事等の報告等を行ない、参加者の方から意見等を頂いている。頂いた意見等に関しては、ミーティングの際話し合いを持ち、サービス向上に努めている。生活していく上での問題点を常に意識し、工夫を考慮している。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に地域包括支援センターの方に出席頂き、情報提供又ご家族からの疑問等へ対応して頂いている。市とは密に連絡を取り合い、市が主催する会議等には積極的に参加し情報提供を行なっている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、権利擁護を利用している入居者様があり、職員へは個々に説明等している。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回の会議、毎日の申し送り、社会での報道ニュース時にその都度話し合いを設けている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>施設見学時、利用契約時に重要事項説明をおこなっている。入所前にご家族に十分に時間をかけ話しやすい雰囲気づくりに配慮を行い同意を得ている</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居時に説明を行い、苦情受付窓口を明確に説明し、入居者様及びご家族に対して十分な対応をしている。受付窓口は明確にしている、相談しやすい様に全ての職員がご家族、入居者様に対応出来る体勢作りを行なっている</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に日頃の健康状態を説明し特変時には連絡を密に行っている。面会の少ないご家族には情報、伝達はこまめに電話連絡を行なっている</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関等に意見箱を設置している。事例は発生していないが、事例が発生した場合は、速やかに対応し、職員間で話し合いを行ない実現するように配慮している。苦情処理書を作成し、職員で話し合い速やかに対応出来るようにしている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>法人代表者とは月1回会議で話し合いを行ない、職員の意見は十分にきき改善すべき事項は反映させている</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員間で話し合い、勤務調整等行なっている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人代表者とは定期的に話し合い、事前の対応策に努め、職員に対応法を周知し入居者様が困惑しない様に努力している。勉強会の開催等や面談等により、職員の離職を最小限に抑える様努めている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時の研修の他、定期的に勉強会を実施、個々のレベルに応じた研修会にも受講している。スタッフの疑問等求められる事からの説明をしている。今後も継続し、個々のレベルに応じた研修への参加、自主的な勉強会の開催を実施していく	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修参加時の交流や合唱への参加、管理者が他ホームへ訪問したり、他ホームの管理者が当ホームに来ていたり、相互の情報の交換等を行なっている。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	各個別にストレス解消策はとっているが、日常的に相談を受けている又親睦会の機会を増やしている。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の心がまえ、向上心を把握し、同じレベルに向けて努力を行なっている。職責別に目的や役割を説明し、向上心を持って勤務できるよう努めている。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前にご本人の生活歴を把握し施設見学、相談時に十分に時間を費やし雰囲気づくりを行い説明し納得していただく支援を行なう。ご本人が求めている事から十分に聞く姿勢を示し時間を掛けて行なう事を継続する	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	日常的に必要な支援、希望等を聞き理解していただき不安を取り除く支援を実施している。ご家族の意向を十分に聞き、安心していただく様、対応に努める。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容を把握し、付随する介護支援の情報提供や調整に努めている。今後もご家族と密に連携を保ち、いつでも話せる環境の配慮に努めていく。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	居室の雰囲気、個性を受け入れた声かけ、自信を高める言葉かけをしている。個々の生まれ育った環境、生活暦を大切にしながら対応に努めている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日頃からコミュニケーションをとり、喜びを分かち合い入居者様の自信を高める言葉かけをしている。個々に応じて今後も対応し継続していく。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族来所時、話し合いをもちご家族の希望に添える様努める、日常生活報告と共に支えあう関係を築いている。面会の少ないご家族には、情報、伝達はこまめに電話連絡を行ない面会への声掛けや相談等に対応している。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者様、ご家族の生活暦を把握し大切な経験等を共有し、理解に努め配慮している。家族とのコミュニケーションを密にしスタッフ間で把握し、対応に努めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様とご家族との情報を得て、スタッフ間で共用し途切れないように努めている。今後も情報の交換や交流を継続し実施していく		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日常的に支えあう環境づくりを行ない、仲の良い仲間づくり、孤立しないように声かけし、トラブル時はスタッフが間に入り修正をしている日常的に居間にてレクレーションを行なっている。職員同士が話し合いを行ない、より良い環境づくりを行い継続していく。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	十分な説明、終了後の情報提供を行い支援を行なっている。関係機関、ご家族等との連絡、面談、情報交換を実行している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々にあった対応を行い、個々の生活空間を害わない自由な生活が送れるように支援している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人の個性を受け入れ、その人の暮らしや、生き方を大切にできるよう援助している。個々の生活暦情報収集を行い、その人に合った生活が送れるように支援し継続していく。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の申し送り、その都度の話し合い、情報伝達を行い記録に残し勤務者に伝達している伝達内容を区別して、把握しやすい方法を取っている。①生活記録 ②薬 ③看護記録 ④一般内容		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人の希望、ご家族の希望をふまえ職員、意見を取り入れながら作成し家族に送付している。ご家族の来所時、日常生活の報告を行い又ご家族からの意見、意向等を聞き作成している		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者様、ご家族等の意向、職員間で話し合い、状態変化に応じた随時の見直しを行っている。状態におうじた介護計画の見直しを実行している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様1人1人の日々の記録、状態変化を具体的に記録に残している。記録の見直し等も、その都度行い意見交換を実施している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その都度の状態変化に応じて、医療機関、市役所との連携を行ない、施設長等に報告し、より良い支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	2月に1回運営推進会議にて地域の方々と話し合い、市役所との連携を行なっている。今までに事例が発生していないが、今後の為、考案(準備)していく。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人、ご家族の意向が発生しなかった為実施されていない。ご本人やご家族からの要望や必要性が発生した場合は柔軟に対応していく。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	定期的に話し合いの場を設けていただいている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各入居者様は入居前からの医療機関等を継続して受診している。受診時には介護添書を持参し医療機関と密な連携を保っている。入居者様、ご家族等は希望する医療機関等を受診することによって安心されている。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	医療機関、ご家族等と職員との連携を強化し継続していく
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	各関係者との協力を強化し継続する必要がある。終末期に向けその人にあったケアが提供出来る様努めていく。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の身体状況に応じ対応し、時間を見てトイレへの誘導を行い 自立支援にに向けて声掛けを行なっている。排泄チェック表を使用している。清潔保持できるように見守り、必要に応じて声掛けを行なっている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は個別対応し、個々の希望時に支援し、1週間に最低2回入浴できるように支援している。バイタルチェック、体調不良の訴えを聞き健康チェックし、入浴時間を強制することなく支援している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の睡眠パターンを記録に残し職員間で把握を行い、必要に応じて日中の覚醒の声掛け、適時の運動を支援している。外部の音、居室の温度、寝具の確認等を十分配慮して対応を行っている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の個性を受け入れ、その人の歩んできた人生、生き方、暮らしを大切に出来るよう支援している。個々の生活情報収集を行い、その人らしい生活が送れるように支援し継続していく		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望に応じ所持されてる方は自己管理を徹底して頂いている。 他の入居者様は家族管理をされている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員との散歩、買い物等には外出をされる。入居者様の中には定期的にご家族交えての外出される方もいる。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	計画的にドライブや花見等行なっている。又入居者様の中には、ご家族とともに買い物やお墓参り等外出されている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話対応できる入居者様には、手助けを行ったり、手紙の代行したり個別の対応に配慮している。	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	入居者様、ご家族、スタッフが顔馴染みとなり、いつでも声掛けをして頂ける様に配慮し、いつでも訪問してくれる環境を整えてる。	
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	各個人の自由な生活空間→居間での憩いの時間、食事時間、就寝時間→を自由な生活が送れるように配慮している	
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、自由に行き来できるように施錠は行っていない 夜間20:00に施錠を行なっている。	
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室で休息以外は職員と過ごす時間を多く取り入れている。今後も個々の状態把握できる場所でケアを継続していく。	
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々に合わせた対応を行ない、その人らしい生活をエンジョイしていただいている。今後も自由な生活が送れるケアを継続していく。	
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の生活習慣を把握し、マニュアルを作成し、随時(月1回の会議、その都度の事例時)職員間で話し合いを行なっている。今後も緊急事態を未然に防ぐ為、ミーティングで話し合いを行ない再発防止に努めている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルを作成し、日常的に話し合い、会議にても学習、勉強を行ない、迅速に対応出来る様になっている。多様なケースが考えられ、経験の少ない職員いる為、継続して学習していく。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時のマニュアルを作成し、年2回避難訓練等を行い、定期的に職員間で話し合いを行なっている。今後も緊急事態を未然に防ぐ為に継続し、実施していく。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所時、ご家族の面会時に日頃の健康状態を説明し密に家族との連携を図っている。ご家族が近郊にいない入居者様は市役所と連携を図り、面会の少ないご家族には、情報、伝達をこまめに電話連絡をしている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日常的に心身の変化や異常発生時は、掛かりつけの医療機関、施設の協力医療機関に相談を行ない、ご家族にも情報提供している。心身の変化時は、状態に応じて受診を行ない、定期受診時は家族に報告、相談を行なっている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の疾患、服薬してる薬の目的を理解し、副作用の用法や容量に行き違いないように申し送り、会議等で把握し確認を行なっている。誤薬がないように準備段階、服薬前の2名での確認(氏名、日付け、用法)を行ない全職員が把握出来る状態にしている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個々の排尿、排便状態を排泄表で把握し、軽い運動や水分の摂取量に配慮し、更に良い方法で予防できるように話し合いを行なっている便秘が続く入居者様に対して、病院での受診時Drと相談し、便秘薬を服用し水分を多めにとり、運動を増やす対応を行っている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	飲食後、個別に声掛け、見守り、一部介助を行ない義歯使用の入居者様には夕食後、洗浄剤を使用している。個々に合わせて対応していく声掛け、見守り、一部介助を行ない義歯使用の入居者様には洗浄剤を使用しているので清潔保持されている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各個人、個人の食事量を記録し水分量チェックを記録して職員間で全体を通して把握している食事の片よりのある入居者様には声掛けして促しをしている。水分量はチェック表を使用し不足がちな入居者様には、必要に応じて対応している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成を行なっている。入居時の健康診断の実施、インフルエンザは年1回の予防接種を実施、多様なケースについては医療機関のDrなど専門家に相談し助言を得るようにしている。手洗い、うがいを徹底し感染症の予防を行なっている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	清潔保持の為、毎食後(食器、まな板、布巾、包丁)10分間、塩素ハイター噴霧置きを行い、他、毎日定期的に冷蔵庫、手すり、雑巾等を消毒、実施している		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭的な空間を取り入れ、野菜作り、花等を作りし、安心して出入りできる雰囲気作りを行なっている。今後も継続し入居者様と楽しめるよう工夫している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具配置、装飾等は入居者様と相談しながら家庭的雰囲気を出している。個々に応じて温度の調整、会話のトーン等の工夫を行っている入居者が落ち着いて生活出来る様、換気、照明、テレビの音、外部の雑音にへ工夫を行なっている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様に対して、ゆっくり休める個室もあり、気の合った仲間同士で過ごせるソファ等も配置し工夫をしている。個々に応じて対応を取り入れ、自然に居場所が定まり入居者同士の会話が弾んでいる		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前使用していた品物(茶碗、お椀、箸、湯のみ、タンス、寝具類 ベット等)を持ちこみ、安心して過ごせるように配慮している。入居者様が使い慣れた生活用品を使用する事で安心感を持って頂く。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	清掃時、入室時には空気の入れ替え、温度調整等随時を行っている。入室時、入居者様に確認をとり必要に応じて消臭剤、芳香剤、 ゴミ処理等を行なっている。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗面所、トイレ等は車イス対応出来るように広さへの確保をしている。入居者の自立に向けて廊下、トイレ等に手すりを取り付け転倒回避をし安全確保に努めている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	更衣、入浴、排泄等が入居者が自力で行なえる事は見守り、を行ない支援に心がけている、個々の得意分野(食事の盛り付け、後片づけ等)は見守りのみ行なっている。個々に応じて見守り、一部介助等を見極め援助している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	空間を利用しベンチで涼ずめるように配置し、花を置いて和めるように配慮している		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開設から3年経ち絆なも深まり入居者様と職員は家族同様となっております。

入居者様とは日常的にゲーム等を通じてコミュニケーションを図り、身体的状況、認知的状況を観察し、職員間で把握し、家族との連携を図り御家族様には安心して頂いて居ります。毎月の行事等を行い、手作りのお誕生会、週1回の手作り料理も好評を頂いており和やかな雰囲気をかもし出しています。